

## 一般選抜代表 A先輩

### 國學院大学 経済学部

#### ■大学・学部選びのポイント

大学・学部を選ぶ上で意識したことは、**自分のレベルを知る**ということです。事前に情報を調べ、行きたい大学を決めるということはもちろん、今の自分の学力はどの程度なのか、本当にやりたいことは何なのかなど、**自分の力や将来のビジョンと照らし合わせて大学・学部を選ぶ**ことが大切だと思いました。

#### ■学力を伸ばす方法

僕が学力を伸ばすために大切だと思ったこと、必要だと思ったことは、とにかく**早い段階から基礎を固める**ということです。基礎を固めることは受験勉強を本格的に始めるのにとっても大切なことだし、これからの志望大学を変更する上での基準になり、**進路実現の選択肢が広がる**ことにもつながる重要なことだと感じました。

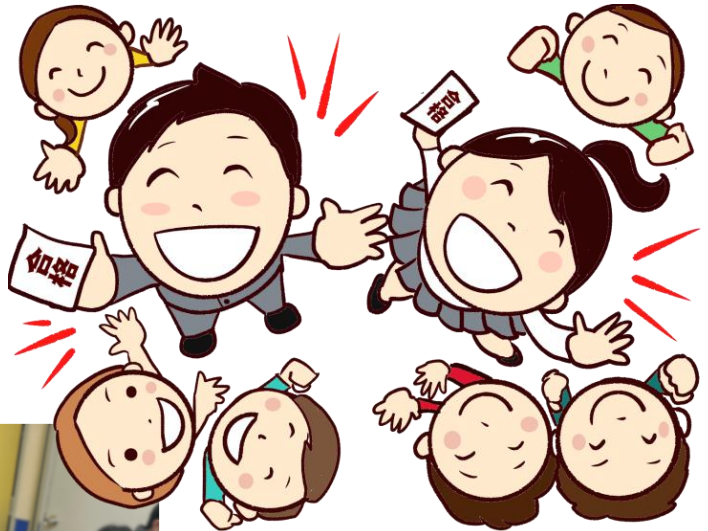
#### ■受験で大変だったこと

受験勉強で僕が大変だったことは、**体調管理**や**メンタルのケア**です。僕は夜遅くまで受験勉強をして睡眠時間が十分にとれないことが多くありました。また、模試などで思うような成績が出ず、精神的に落ち込んでしまう場面もたくさんありました。やはり毎日勉強漬けではなく、適度に休憩をしたり気分転換をすることも大切なのだと強く実感しました。

また、メンタルケアで気をつけたことは、**未来のことについて考えすぎない**ことです。受験勉強は時間との勝負でもあります。この先のこと考えすぎて不安になってしまうのではなく、**今やるべきことをしっかりとこなす**ことの方が重要なのだと1年間を通して感じました。

#### ■後輩へ応援メッセージ

これから受験生になる人はこれから本格的に受験勉強が始まると思いますが、自分を信じ、無理をせず、やるべきことをコツコツこなし、進路実現に向けて頑張ってください。



# 総合型選抜代表 B先輩

## 帝京大学 医療技術学部

### ■大学・学部を選ぶポイント

私の場合、まずなりたい職業を決めて、家からの通いやすさ、自分が行きたいと思える学校かで決めました。私は看護師になりたいと決めたのが高2の3月くらいでだいぶ遅かったと思います。ですが、みなさんには焦らずに決めてほしいと思います。

また、**実際に大学に行ってみるべき**です。オープンキャンパスに行って授業を体験したり、食堂でご飯食べたり、先輩の学生さんと話したりして、**自分が大学でキラキラ輝いていることが想像ができる大学**にした方がいいと思います。学力的に手が届かないからといって今からあきらめていたら、全部ダメになってしまうと思うし、これくらいでも学力なんて伸びますから、とにかく**自分の未来が想像できる、楽しそうで、ワクワクする大学**に入るのがいいです!!



### ■総合型のメリットとデメリット

#### [メリット]

- 合格できたら早く終われてラク
- 面接や志願理由書などの書類で**自分をアピール**できる
- 受験機会が増える
- 受験科目数が少ない学校もある(小論文だけのところもある)

#### [デメリット]

- 受験時期が早いので準備時間が一般選抜より少ない
- 面接試験がとても大変
- もし総合型で不合格になったら一般選抜の準備もしなければならないので、他の人より一歩遅れる可能性がある
- 過去問が少ない
- 倍率が高すぎる(私の場合10倍でした)



### ■受験で大変だったこと

私は夏休み前から準備を始めましたが全然終わりませんでした。特に、自分のアピールしたい部分や**自分の思いを言語化して自分の軸を確立**するのが大変でした。面接練習を通して主な質問の返答は暗記しますが、自分の軸がないと思ってもよらない質問に対応できません。とにかく**自分のなりたい将来像や大学で身につけたい事柄などをしっかり持つこと**がたいへんでした。実際の面接試験では、あらかじめ準備していた志望理由やこれまでに読んだ本など聞かれず、高校での勉強に関することや、大学の特徴も踏まえてどう学んでいきたいか、看護師に必要な力って何だと思うか、と聞かれ、一瞬不安になりました。でも、たくさん準備してきたので、大学の特徴も自信もって言えましたし、自分の言いたいこととつなげて答えることができました。とにかく大学のこといっぱい調べて自分を理解できるように努力して、自分の思いを伝えられるように練習してください。

### ■ちゃんとやっておいたほうがいいこと

#### [大学調べ]

とにかく調べまくりましょう。まだ第一志望が決まってない人は、どんな大学があるのか、受験方法は、科目は、場所は、特徴はなど、**徹底的に調べる**べきです。特に受験方法と科目はしっかりチェックしましょう。英検が使える大学もたくさんありますし、小論文と面接だけの大学もあります。でも気をつけなければいけないのが、「小論文と面接だけやっておけばいい」という意識です。これは絶対にダメです。総合型で不合格になって一般選抜になったときのことも考えて、一般受験する大学の科目を知らべてちゃんとやっておかないと危険です。

#### [過去問]

オープンキャンパスに行くと、総合型で受験する予定の人たちは**過去問がもらえる**ことがあります。難しく解けなくてもまず1回やってみましょう。ここで、出題の形式などを把握しておいて、それから勉強法を考えてやってく必要があります。私は4年分(8回分)入手できたので急いで2周しました。1周目では解らないところがたくさんありました。**正解できなかったところと不安なところを全部参考書で調べてまとめ**ました。はじめは1回のふりかえりで5時間以上かかってましたが、だんだん短縮できるようになって、最終的には確認だけで終われるようになるまでやりつくしました。

### ■先輩たちへアドバイス

医療系に行きたい人は絶対に**生物を選択**すべきです。生物は仕組みがわかったら忘れにくい科目です。これから辛いこともあるかもしれませんが大丈夫です。絶対にできるようになります。

# 志英館、東進両方在籍代表 C先輩

## 東洋大学 法学部

### ■志英館 個別指導の良かったところ

僕は、中3まで志英館に通っていて、高校に進学してからは、志英館高等部に通い、個別指導を受けていました。高校受験が終わってから、勉強の習慣が無くなってしまったのですが、そんなときに個別指導はとても役に立ちました。個別指導では、普通の学校の授業などでわからなかったところを直接聞くことで、**苦手を克服**することができます。個別指導は集団授業とは違い、先生が自分のペースに合わせてくれるので、置いていかれる心配がなく、**理解するまで**教えてくれます。実際に僕も問題を解いたり理解するのがすごく遅いので、とても助かりました。

### ■東進の良かったところ

高2の冬ごろ、志英館高等部から東進に移籍しました。はじめの頃はまだ受験勉強を頑張ろうという気持ちがまいち沸かず、とりあえず通っている感じでした。しかし、高3の4月頃には真面目に勉強をするようになり、部活を引退した5月頃からは本格的に受験勉強を始めました。

東進には有名な先生たちが教えてくれる映像授業があり、僕も英語や国語、政治経済の講座を受講しました。講座は、専用のテキストを使いながら受講するのですが、あとから見返すことができるので復習にも役立ちました。僕の中で1番ありがたかったのは、自習室が毎日開いているところです。家ではなかなか勉強に集中できないので、東進の自習室はとてもありがたかったです。

### ■志望校選びでいちばん大切なこと

志望校を決める上で僕が大切だと思うことは、**自分の将来やりたいこと**ができるのか、その大学に行って後悔しないか、**しっかりと調べる**ことです。どういった大学があるのか調べることは勉強と同じくらい大事だと思います。事前に調べて、気になる大学の**オープンキャンパス**に行くことは勉強のモチベにもつながるので、面倒くさがらずに行くのを勧めます。東進では先生方が一緒に大学の情報を細かく調べてくれたり、考えたりしてくれたので、とても助かりました。

### ■これだけはやっておくべき

実際に受験を終えてみて、とても大事だと思ったことが2つあります。

1つ目は、**英検2級**をとることです。大学受験では英検2級のスコアを利用することで、一定の点数を保証してくれる制度を採用している大学があります。大学によって、細かい基準は異なりますが、例えば、英検スコア1980以上を取っていると、英検の可否に関係なく本番で80点換算してくれる、というようなものです。これを利用することで、他の受験生より有利になることができます。僕は今回の受験で受けた大学は全て英検のスコアが利用できる場所だったので、英語を勉強する**時間を他の教科に回す**ことができました。

2つ目は、模試の成績が悪くても、**最後まで諦めない**ことです。模試の成績が悪かったときに、いつまでも落ち込むのではなく、伸び代がまだまだあるのだと考えて、勉強に励みましょう。**社会科目は直前期こそものすごく伸びます**。これは僕の体験談ですが、僕は本番までのすべての模試で、東洋大学はE判定以外取ったことがありませんでした。それでも合格できたのは最後まで少しの可能性を信じて、諦めなかったからだと思います。これから受験生になる皆さん、しんどいと思いますが、息抜きを忘れず、最後まで希望を捨てずに頑張ってください。

登壇してくれた先輩方 どうもありがとうございました





## 学校推薦型選抜代表 D先輩

### 学習院大学 経済学部

当日は都合により登壇できませんでしたがメッセージをいただきました

#### ■指定校推薦のポイント

指定校推薦は落ちないと言われますが、油断してはいけません。実際に合格が発表されるまでは不安がつきまといまいます。私は一般受験に向けての勉強もきちんと続けていましたし、共通テストも受験しました。

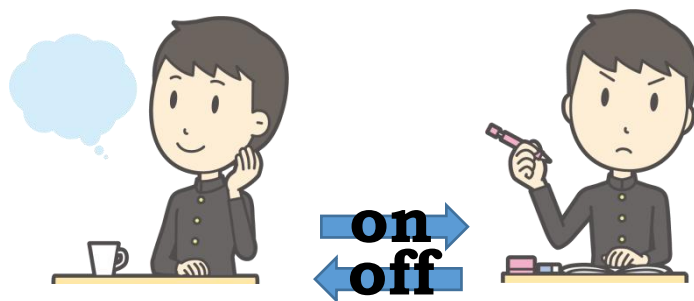
指定校推薦を狙っている人は、1年生のはじめからきちんと高校の授業を受けて、定期テストにむけてしっかりと勉強した方がいいです。私はテストの3週間前から塾の自習室を活用して勉強していました。部活の終了後で疲れていても、絶対に塾に行く決めていました。

#### ■普段の勉強で意識したこと

私はあまり集中力が続かないので、30分勉強5分休憩のサイクルで勉強していました。人間が深い集中を持続させられるのは限界があるので、長時間だらだらと勉強するのはあまり良くないと思います。また、睡眠時間を削って勉強するのは絶対にやめた方がいいです。勉強の効率を高めるには最低でも6時間以上の睡眠が必要だと思います。

定期テスト前は音読ルームを利用していました。特に世界史は覚えることが多いので、教科書を何度も何度も音読しながら覚えました。音読するほうが覚えるのが速いです。

それから、学校でも塾でも、積極的に先生に質問するようしていました。わからないことはその場で解決するのがいいです。恥ずかしがらずにどんどん質問しましょう。



#### ■指定校推薦で英検取得が必須となることも

英検2級は高2のうちに取得しておいた方がいいです。一般受験では英検のスコアが得点換算されますが、指定校推薦では2級取得が推薦基準となっているところもあります。早めに調べておいた方がいいです。また、3年生になると模試の回数が増え、模試と英検の試験日程ががぶって受験できない可能性もあります。受験勉強や模試の対策で、英検の勉強に手が回らなくなってしまう前に、2年生のうちに英検2級を取得しておきましょう。

#### ■いちばん大事なこと

いちばん大事なことはこの大学に行きたいという強い気持ちを持つことです。そのためになるべくたくさんオープンキャンパスに行って、大学のことや授業内容のことなどを知しましょう。そして結局、受験は努力したもん勝ちです。才能や今の学力は関係ありません。精神的にきついときは、松岡修造さんの激励動画を見るといいですよ。

